



秋厚労ニュース

NO1863号

2018年8月23日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

日赤・能代山本医師会

組合説明会を実施

秋田県医労連
定期大会

8月18日(土)、中通病院労働組合会館にて、第57回秋田県医労連定期大会が開催されました。秋厚労15名を含む44名が参加し、各労働組合から1年間の取り組みについて報告がありました。



要求実現のため、組織拡大が重要課題

秋田県医労連の加盟労働組合は17あります。各労働組合から1年間の取り組みについて報告がありました。

秋田赤十字病院労働組合は、「例年6月に新入職員歓迎会を開催した。今年も、初めて4月に新入職員を対象に組合説明会も実施。説明会時に、10名の組合加入があった。」と報告。また、能代山本医師会病院労働組合も「新入職員歓迎会のほかに、初めて組合説明会も実施。組織拡大に取り組んでいます。」

と述べました。

大仙市職員労働組合は、「子育て世代が多いことから、しやべり場を開き、組合の横のつながりを強化。今年15名の組合加入があり、組合員数89名、今後

中通病院ベースアップ

中通病院労働組合は、経営側との交渉で職員の生活実態(結婚、出産、子育て)を訴え、退職を考えず、これからも働き続けるために賃金・労働条件の改善、働きやすい職場環境の実現を要求しました。

何年も要求し続けてきた成果。」と報告しました。秋厚労も58歳以上の年間一時金が昨年は7割から8割、今年は8割から9割に改善。これも長年要求し続けた成果です。引き続き、不利益改善を粘り強く交渉してまいります。

その結果、経営側は「厳しい経営環境が続くなかでの病院経営になるが、全職員が一体となり、患者さん、地域住民から信頼される医療に奮闘を期し、定期昇給6、195円(2.36%)【定期昇給5、789円、ベースアップ406円】と回答。中通労組は「18年

100名を目標にさらに組織拡大に力を入れていきたい。」と話しました。要求実現のため、多くの労働組合で組織拡大に重点をおいた取り組みが必要だと話しました。

地域間格差のない社会をめざして

大会後、日本医労連の森田さんから「全国一律最低賃金アクションプラン」について学習しました。

地域間格差の問題として、秋田県の最低賃金は738円で、東京と比べると220円低いです。月給約3万5千円、年間約42万

2017年度日本医労連賃金労働時間調査(モデル賃金)

	看護師(初任給)	看護師(35歳)	看護師(50歳)	看護師(59歳)
日本医労連ポイント賃金要求	220,000円以上	350,000円以上	450,000円以上	510,000円以上
全体平均	200,371	278,308	355,776	374,085
全体最高	247,650	396,100	472,211	484,670
全体最低	157,700	195,500	228,000	228,000
最高-最低	89,950	200,600	244,211	256,670

円の差が生じます。この差が医療職を含む様々な職種に賃金に影響します。

一般的に看護師は賃金が高いと言われます。しかし、それは夜勤手当や残業など、身を削って高い賃金になっているだけで、基本給では全産業平均よりも低いのが実態です。2017年度日本医労連賃金労働時間調査では格差が浮き彫りになっています。

最後に「厚生労働大臣宛ての要請署名に取り組み、地域間格差のない社会をめざしましょう」と森田さんは呼びかけました。